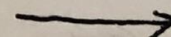


1970/10/25 東京都新人戦 優勝  
110mJH 15"8 - -



110mJH

決勝 10台目





1970/11/3 東京都新人戦 優勝



4×100mR

44"1 (安岡、山川、中川、渡部)



# 1970/11/3 東京都新人戦 優勝

4x100m リレー (安岡、山川、中川、渡部)

44"1



表彰

4x100mR

# 1970/1971年 高校時代 陸上競技メダル

## 東京高校陸上競技 新人選手権大会 (1970年 高2 秋)



110mJハードル  
(優勝)



400mハードル  
(第2位)



4x100mリレー  
(優勝)

## 東京高校陸上選手権大会 (1971年 春 高3)



4x400m リレー  
(優勝)



110mJ ハードル  
第2位









































# 踏み切るやヒラリ空中一回転

## 走り幅にも ウルトラC

【写真】走り幅跳びに奇抜な前振り動作。着地後で踏み切るなりスピードを上げて空中で一回転。横断がつかないれば、しりもちもなくなって大記録が生まれる？ (小山台高の小野瀬)

走り幅跳びの選手は、大抵「踏み切るやヒラリ空中一回転」の動作で走り幅跳びをする。これは、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。

### 田中健一

走り幅跳びの選手は、大抵「踏み切るやヒラリ空中一回転」の動作で走り幅跳びをする。これは、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。

### 米て 小山台高で実験中

## 「合理的」なんだった

走り幅跳びの選手は、大抵「踏み切るやヒラリ空中一回転」の動作で走り幅跳びをする。これは、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。

走り幅跳びの選手は、大抵「踏み切るやヒラリ空中一回転」の動作で走り幅跳びをする。これは、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。この動作は、走り幅跳びの選手にとって、最も重要な動作の一つである。



# 南関東



▲100 m。左から6 藩白井正明（中大附）11秒3、4 藩宮入義明（堀越）11秒2、3 藩須藤正（相台工）11秒1、5 藩石塚悟（成田）11秒3、1 藩藪中安範（木更津中央）11秒0、藤川、2 藩吉田悟（都小山台）11秒1



◀砲丸投げ。15 m 47で優勝した久力逸郎（宮志野）円盤投げでも怪力ぶりを発揮、47 m 48で二種目制覇



▶三段とび。超高校級「白井淳一（相台工）」が14 m 70で楽勝。400 mも49秒4で優勝、幅は白旗に次ぎ7 m 23で2位

▶100 mハードル。左から2人目、藤森良文（佐原）が14秒7で1 藩。2 藩柏尾裕二（都駒場）15秒0、3 藩西谷昌信（中大附）15秒1







# 2008年会報





# 2009年会報





# 2011年会報

